

(様式)

議会運営委員会行政視察報告書

委員会名	議会運営委員会	委員名	えびな 安信
視察地	登別市		
調査事項	議会におけるオンラインを活用した運営について		
視察年月日	令和6年10月16日		
視察内容	<p>本市では妊娠・出産を経た議員が在職しているが、12月6日より産休予定である。 また国の制度改正などを受け、今年度当初からオンライン委員会及びオンラインによる質問について議会運営委員会で協議を重ねてきた。</p> <p>登別市では全道で先駆けて、オンライン委員会及び本会議にオンライン質問の制度を導入していることから、登別市に導入や経緯、規定や開催要件について調査した。</p> <p>オンラインでの一般質問は、子育てや介護などで議場に来られない場合においても、多様な人材の議会参加を促すことが目的である。</p> <p>制度の導入方法としては、登別市議会の会議規則を変更、会議を欠席、遅刻又は早退する場合において、質問を映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話することができる方法（オンライン）により行うことを希望する場合、議長の許可を得てオンラインにより質問することができることとした。また、その際はオンライン質問申請書の提出が義務付けられている。</p> <p>オンラインの設備についてはz o o mを使用し、そのほかの取扱いについては申し合わせで決定している。</p> <p>なお、議会にて一般質問を行ったとしても、国の制度により出席扱いとはならない。 登別市は他にも議長選挙の際、立候補制にするなど、先進的な議会改革に取り組んでおり、歴史的に議員が動く議会の仕組みづくりに力を入れている印象を受けた。</p> <p>私個人としては、昨年度のグリーンスローモビリティに続き、2度目の視察となったが、今回の委員会オンライン出席や一般質問についても、制度的・技術的な制約を取り払い、誰でも議会に参加しやすい環境づくりをしていくことが重要と考える。</p>		

※ 「視察内容」欄には、調査結果に対する意見、本市における実施の可能性、課題等を記載すること。